

全国スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会 (SGH甲子園)に出場しました！

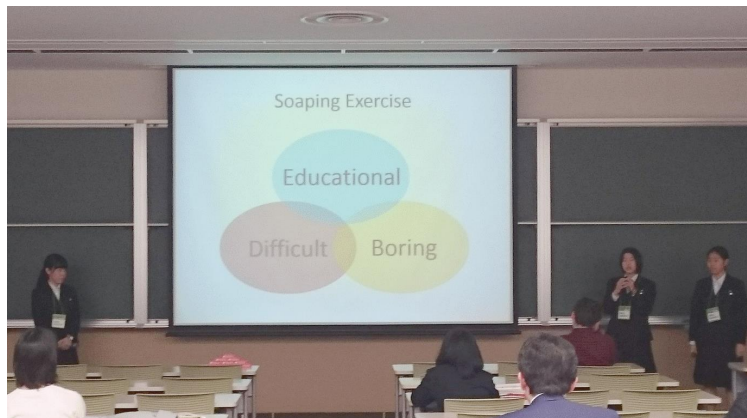
3月19日(日)に関西学院大学(兵庫県西宮市)で行われた全国スーパーグローバルハイスクール課題研究発表会(SGH甲子園)に、本校国際科よりプレゼンテーション・ポスターセッションの2つの部門へ2チーム5人の生徒が出場し、研究発表を行いました。大会当日は、全国のSGH校84校から生徒や教職員約1200人のほか、大学関係者や文部科学省担当者、企業関係者など多くの参加者が集い、様々なテーマで研究発表や意見交換が行われました。また、生徒交流会も開催され、全国のSGH校生との親睦を深めることができました。



開会式

長崎東高からは、プレゼンテーション部門で“*How can we produce soap against mosquitoes?*”「蚊に対する忌避効果をもつ石けんを作る方法」の研究発表を行いました。この研究は英語での研究要約や研究概要を5分間にまとめたダイジェストプレゼン動画などの予選を経て、全国から応募のあった研究のうちベスト25に選抜されたものでした。審査員の先生からは「発展性のある研究で、是非継続させてもらいたい」との高い評価をいただくこともできました。

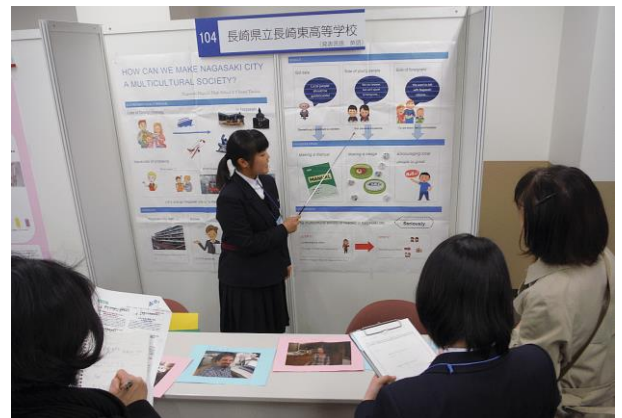
ポスターセッション部門で出場した“*How can we make Nagasaki city a multicultural society?*”「長崎市を多文化社会にするためにどうすればよいか。」も、セッションの参加者から多くの質問や意見を頂くなど、大きな反響がありました。



プレゼンテーションの様子

プレゼンテーション代表：藤本真緒さん

SGH甲子園という大きな舞台でプレゼンテーションができたことを大変うれしく思います。私たちがこれまで行ってきた研究を外部の方々にとって頂くことができました。質疑や講評の際には、私たちがだけで研究をしている気付けなかった点をご指摘頂き、これからも熱心に研究活動に励んでいきたいという思いが強まりました。



ポスターセッションの様子

ポスターセッション代表：安野伊万里さん

英語でたった一人で発表するのは、私にとって初めての試みで大変良い経験になりました。思い切って挑戦してみてよかったと思っています。ポスターセッションを聞いて頂いた多くの皆さんから様々な意見や助言をもらうことができました。これらを参考に、今の研究をより発展させていきたいと考えています。